

## 1【身体活動・運動分野】

## 資料2

R6実績				R6 取組実績		R7 事業実施計画														
						R7事業実施状況	各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係課や各種団体等と連携しているか(※事業企画・調整協議会の開催、講座実施、機器貸出・人材周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳				サービス利便性向上、効率的な事業実施のためのテクニカル技術・機能の活用(事業周知、連携方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など)	主な活用状況
R7進捗状況		進捗状況:9割 各世代に配慮した取組の割合:7割 関係機関との連携割合:9割		R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施回数、実施割合、参加人数など)		R6年度未時点 課題等 (実施者数、地域や世代の偏り、連携の有無)	世代に応じた取組の有無	妊娠・育児期	子ども・若者世代 (0~19歳)	就労・保護者世代 (20~64歳)	シニア世代 (65歳以上)	連携あり	協賛品の提供 周知啓発 コース情報の提供	31	○	○	○		アフリの活用 情報を見える化 具体的なデータ管理 ウォーキング コースの整備
1 活動量の増加	健康推進アフリ「BIWA-TEKU (ビワテク)」	自分の体重や歩数の管理など健康管理に役立つアフリで、日々の健康づくりが健康ポイントになり、そのポイントで貯め込むことができる。	健康企画課	○(実施)	参加者数:3,117人 R6新規DL者: 国保参画者:974人(30.7%) 市内協賛企業数:26社	ダラウンドレーダーとして50代~60代が多い。 若い世代に対して、アフリ自体の周知や、利便性についても周知し、生活を取り入れてもらえるようにする	執行中	取組あり		○	○	連携あり	協賛品の提供 周知啓発 コース情報の提供	31	○	○	○		アフリの活用 情報を見える化 具体的なデータ管理 ウォーキング コースの整備	
2 活動量の増加	各地区ウォーキングイベント	自然を楽しみながら、仲間や友人と共に健康づくりを行う。	健康推進課 ※地域で健康づくりを行う団体 ※社会福祉協議会	○(実施)	各地区ウォーキングイベント7回実施。	ウォーキングイベント開催地には、多くの場所があるので、どの方面にもある近い場所で近い人との体を動かす機会が必要。	執行中	取組あり		○	○	連携あり	地域づくり協議会や 社会福祉協議会と協働して実施	2	○	○			無し	
3 活動量の増加	転倒予防自主グループ活動	地域の高齢者の介護予防の高い場。自治会館等でないままでんせき体操等を主に行い、介護予防と他者交流を図る。	長寿推進課	○(実施)	転倒予防教室数 121グループ 参加者数1,414人	令和4年度と比較して、自生活動グループ活動者数は約65人に減少している。各グループにておける専門職による支援は、年齢を通して入っておりず、事業の利用希望もない。	執行中				○	連携あり	事業周知協力	4		○			無し	
4 活動量の増加	※スポーツ・ヘルスツーリズムの推進、取組を通じたスポーツ機運の向上	健康への要素も取り入れながら、国内外の大会や合宿誘致といったスポーツツーリズムを推進する。	文化スポーツ課	○(実施)	・ソフトテニス合宿 3回(1/8~3/4 2/8~11~12/3/10/19~20) 長浜市民総合体育場ほか 参加者: 243人 会場: 19(9/14~16) 長浜伊香ソーピンアリーナ 参加者: 1,583人 ・代理大学連絡部合宿(12/24~27) 長浜伊香ソーピンアリーナ 参加者: 200人	・国スポーツ振興大会に向けた開催競技を中心としたスポーツ合宿であり、種目を限定的である。 ・宿泊施設が少ないので実施規模が限られる。 ・合宿事業者どのように継続していくか、事業体制の確立と継承を考える必要がある。	執行中	取組あり		○	○	連携あり	・事業周知 ・参加団体呼びかけ・調整 ・合宿運営協力 ・スポーツ教室の開催	7	○	○	○	○	無し	
5 活動量の増加	※長浜健康ステーション事業での測定、サークル活動の紹介	買物の場で健康測定や体力測定を行い、結果をひもえて自分でできる体操やサークル活動の紹介を行う。	健康企画課	○(実施)	健康ステーション事業での体力測定(握力、立ち上がり、姿勢チェック) R6:8回 463人測定 会場で准生字磨活動、ボランティア活動、サークル活動を紹介	地域団体と連携し、事業内で体力チェックや地域活動の紹介を行い、市民の社会参加や活動量向上を図る	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	場所の確保 ブース出展 人員派遣 機器貸出 事業周知 協賛品提供	11	○	○	○		有り 測定機器を活用し、生活習慣の結果が数値で見えるようにしている	
6 活動量の増加	結果説明会	生活習慣病の重症化のリスクがある人や、フレイル・サルコペニア予防が必要な対象者に対し、保健指導等を行なう。	健康推進課	○(実施)	結果説明会参加者108人の内、20人にコモマニット(運動啓発物品)を配布し保健指導を実施。	R6年度からまちづくりセンター等の会場を使用し各地区での開催に変更した結果、自主的な申し込みが増えた。引き続き実施していく。	準備中	取組あり		○	○	連携あり	健康企画課実施のピラティス・ヨガ等のインセンティブ、特定健診実施医療機関へ周知依頼。	2	○	○			有り Logoフォームでの受け取付	
7 活動量の増加	※生活習慣病やフレイルリスクのある方への保健指導	生活習慣病の重症化のリスクがある人や、フレイル・サルコペニア予防が必要な対象者に対し、保健指導等を行う。	長寿推進課 ※地域包括支援センター	○(実施)	・健康状態不明者訪問 109人 ・高血圧コントロール不良者訪問 29人	・健康状態不明者訪問では、対象者のうち、健診受診につながったのは5人(4.1%)であり、受診行動にはつながりにくい現状がある。他の機関と連携して継続的な訪問ができる体制づくりが必要である。 ・対象者 29人のうち 医療機関受診が確認できた人は29人(100%)であり、医療機関受診継続ができている。	執行中				○	連携あり	事業実施、医療連携	4	○	○	○		無し	
8 活動量の増加	※転倒予防自主グループ立ち上げ支援	地域の介護予防の高い場の充実、自宅で運動ができる媒体の作成及び活性化を進めて、高齢者でも運動できる環境づくりを行う。	長寿推進課 ※長浜市社会福祉協議会	○(実施)	新規立ち上げ支援0件	身近な高い場が縮小していく中で、フレイル予防や社会参加の必要性について、サロンノーティング等連携しながら啓発していくことが必要である。	執行中				○	連携あり	事業周知協力	4	○	○			無し	
9 運動習慣の確立	ながはまスポーツキッズエスティバル	年中(4歳児)～小学校・義務教育学校 前期課程までの生徒を対象に、身体を動かす楽しさ・遊びの楽しさを感じてもらうよう開催する。	文化スポーツ課 ※開催に関わる団体・大学等	- (元々事業予定なし)		事業範囲 R7年度よりプロスポーツ選手などを中心に呼び、小学生カッスルの大会で楽しむ家庭で広める事業(キッズアンバサダー事業)を実施予定	実施予定なし (事業終了)													
10 運動習慣の確立	長浜市運動あそびプログラム	子どもの意欲と自信を高め、運動できることづくりや人と手く関わる心づくりをめざし、保育に運動あそびを取り入れる。	幼児課	○(実施)	・市内各園において日常的に実施 ・保護者あて運動あそび通信発行 3回 ・親子ふれあい遊び ・公立18園 ・子育て支援施設5回 出前講座4回	・各園において運動あそびを日々楽しく継続していくための環境構成や工夫が必要である。 ・体を動かすことの大切さを、地域や保護者により広く啓発していくことが必要である。	執行中	取組あり		○	○	連携あり	2	○					無し	
11 運動習慣の確立	ながはまやんせ体操を活用した運動推進	高齢者を対象とし、主に足腰の筋力を鍛える体操(準備運動、ストレッチ、筋力トレーニング、クーリングダウンの4つ)を実施する。	長寿推進課	○(実施)	10か所142人参加	老人クラブやまちづくりセンター等と連携することで、実施回数を増やすことができた。	準備中				○	連携あり	会場提供、事業周知等協力	10カ所程度		○			無し	
12 運動習慣の確立	※小学校でのマイ体力アップ事業(学童期からの体力づくり)	市内全ての小学校・義務教育学校のクラブ活動を実施して、継続して運動に親しむ機会を提供する。段階的に部活動の地域移行をすすめながら、より良い環境でスポーツができるよう努める。	教育指導課	△(一部実施)	・小4年生対象に10～3月の期間 「マイ体力アップ事業」を実施する。	・取組期間および取組方法について改進が必要。	準備中	取組あり		○		連携なし	市内小学校および義務教育学校前期課程	25	○				無し	
13 運動習慣の確立	※学校でのクラブ活動・部活動を通じた運動機会の提供。部活動の地域移行(スポーツができる環境づくり)	小学校・中学校・義務教育学校のクラブ活動を実施して、継続して運動に親しむ機会を提供する。段階的に部活動の地域移行をすすめながら、より良い環境でスポーツができるよう努める。	教育指導課	△(一部実施)	・長浜市「部活動の地域移行推進協議会」2回開催 ・他県市町への活動状況視察訪問	・地域の指導者の確保。 ・教師の働き方改革と部活動の活動時間問題。 ・実証事業の推進。	執行中	取組あり		○		連携あり	・市内の総合型スポーツクラブによる実証事業委託。 ・拠点校による部活動の実施。 ・外部指導による部活動指導	47	○	○	○		無し	
14 運動習慣の確立	※学校でのクラブ活動・部活動を通じた運動機会の提供。部活動の地域移行(スポーツができる環境づくり)	小学校・中学校・義務教育学校のクラブ活動を実施して、継続して運動に親しむ機会を提供する。段階的に部活動の地域移行をすすめながら、より良い環境でスポーツができるよう努める。	文化スポーツ課 教育指導課	○(実施)	・長浜市「部活動の地域移行推進協議会」2回開催(6/26、9/30) ・拠点校型活動の実施(湖北中学校男子バスケットボール部) ・奥びわ湖畔・ツラカでの実証事業(7～翌2月)	・国の示す方針と県の方針に違いない。 ・学校部活動を地域で展開する際の受け皿となる地域クラブの指導者不足。 ・活動場所の確保。 ・部員数の減少による学校部活動の存続の危機。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	・拠点校型活動の実施。 ・奥びわ湖畔・ツラカでの実証事業。 ・市民協働事業の実施	5	○	○			無し	
15 運動習慣の確立	※長浜健康ステーション事業での測定、遊び、体験事業等(身体をついた遊びや活動が体験できる環境づくり)	企業や地域団体と連携し、買物の場で親子で遊んだり、体操や運動、ウォーキングを体験できる環境づくりを進めている。	健康企画課	○(実施)	企業と連携し、店内にウォーキングコースを整備、歩きやすい環境づくりを実施。 R6:1,085人 店内ウォーク参加 明治国際医療大学・地域団体などと連携し、親子向かいやすい環境づくりを実施。(17組41名)	・天井に左右されず、安心して歩ける環境、日常生活で気軽に取り組める環境づくりを市内事業所と連携して実施する。 ・親子で遊びや体験を通して、運動や遊びについての会話会員の外見体と環境や目的を共有しながら、取組んでいく。	執行中	取組あり		○	○	連携あり	場所の提供 事業企画上の連携 人員・機材の提供 インセンティブの提供	12	○	○	○	○	無し	

## 2【喫煙分野】

R6実績		R6 取組実績			R7 事業実施計画																
R7進捗状況					各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか																
	中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施場所、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代 の偏り、連携の有無等)	R7事業 実施状況	世代に応じた 取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代 (0~19歳)	就労・保護者世代 (20~64歳)	シニア世代 (65歳以上)	関係課や各種団 体等と連携してい るか(事業企画・ 運営、ブース出 展、講座実施、機 器貸出、人員派 遣、事業周知協 力、協賛品提供 等)	主な連携概要	連携している 機関の数	連携機関の内訳	サービス利便性向上、 効果的な事業実施のためのデジタル技術・機 器等の活用 (事業周知、事業申込 方法のDX化、結果の 見える化、アプリの活 用、結果データの取得 など)	主な活用状況		
1 禁煙増進、受動喫煙防止	特定保健指導・健康栄養相談	生活習慣病の予防のために保健師や栄養士が禁煙相談・禁煙指導・禁煙外来への受診支援を実施する。	健康推進課	○(実施)	特定保健指導参加者357人のうち禁煙指導者数68人	喫煙者に禁煙指導を引き続き実施していく。	執行中	取組あり			○	○	連携なし				無し				
2 禁煙増進、受動喫煙防止	母子健康手帳交付	手帳交付時に、妊娠や家族の状況を把握して、必要な相談支援や禁煙指導を実施する。	健康推進課	○(実施)	・母子手帳交付者711人のうち喫煙をしている妊婦9人と、夫・パートナーが喫煙している妊婦211人に全数指導した。	妊婦に一定数の喫煙者がいるため継続指導が必要。	執行中	取組あり	○				連携なし				有り				
3 禁煙増進、受動喫煙防止	乳幼児健診	4か月児健診時に家庭で喫煙者があるかを確認し、禁煙や分煙についてパンフレットを使用して指導する。	健康推進課	○(実施)	・4か月児健診時に家庭で喫煙者があるかを確認し、禁煙や分煙についてパンフレットを使用して指導する。	乳幼児健診で、喫煙者に引き続きたばこによる児や保護者への健康被害について啓発する。	執行中	取組あり		○	○		連携なし				無し				
4 禁煙増進、受動喫煙防止	健康増進事業	COPDに関する啓発リーフレットを送付し、COPDの啓発と生活習慣の見直しの機会づくりを図る。	保険年金課	○(実施)	啓発リーフレットの送付 対象者:令和5年度定期健診受診者のうち問診票に「喫煙習慣がある」と回答した者 人数:582人	COPDの啓発チラシを送付し、予防と治療について周知していく。	準備中	取組なし			○	○	連携あり	健康企画課に禁煙外来について確認	1	○		無し			
5 禁煙増進、受動喫煙防止	路上喫煙禁止区域の指定	『長浜市さわやかで清潔なまちづくり条例』第11条に基づき、路上におけるたばこのポイ捨て防止や歩きたばこによる危険防護を図るために、路上喫煙禁止区域の指定を行っている。長浜駅周辺から大手門通りの区域を中心として、観光客や買い物客等の通行人が多いと考えられる道路を選定している。	環境保全課	○(実施)	夏中さん開催期間に合わせて、路上喫煙禁止区域で歩きたばこやポイ捨てが行われるため、注意喚起の看板・張り紙を設置し、区域管理を行う。	路上喫煙禁止区域内で、夜間に飲食店等が灰皿を出すことで、喫煙者が利用するため、年に数回担当課より店舗へ条例の説明及び灰皿の撤去について指導を行っている。	執行中	取組なし					連携なし				無し				
6 禁煙増進、受動喫煙防止	※地域の健康イベント等でのたばこの害等の啓発	地域で行われる健康イベント等でたばこによる健康への影響について周知し、禁煙や受動喫煙防止について啓発する。	健康企画課	○(実施)	健康ステーション事業として楽しい物の場、親子イベント、さらにはタバコを活用した健康チェックを実施、その場の親子に対してチラシ等の媒体をもみえパッコの害について説明。	引き続き、多くの市民と接する機会を活用し、健康測定や各種体験事業の場で市民に対してタバコによる健康への影響等について啓発を行っていく。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	連携あり	場所の確保 ブース出展 人員派遣 機器貸出 事業周知 協賛品提供	11	○	○	無し		
7 禁煙増進、受動喫煙防止	※地域の健康イベント等でのたばこの害等の啓発	地域で行われる健康イベント等でたばこによる健康への影響について周知し、禁煙や受動喫煙防止について啓発する。	健康推進課	×(実施なし)		各地区でのイベントには参加しているが、たばこによる健康への影響等についての啓発は行っていない。今後はたばこについても啓発が必要。	未着手														
8 禁煙増進、受動喫煙防止	※自治会を通した、町内集会所の受動喫煙防止推進	自治会を通じて集会所敷地内の受動喫煙防止が進むように啓発や相談支援を行う。	健康企画課	○(実施)	R7年1月に自治会総会の時期に合わせて、各町の集会所及び社務所等での受動喫煙対策について依頼文・チラシによる周知(敷地内の屋外での対応について説明)	屋内の禁煙化については、地域での一定の理解が得られてきているが、敷地内(屋外)での対策の必要性については引き続き、広報、HP、依頼文等を通して自治会での理解の促進を図っていく。	未着手														
9 禁煙増進、受動喫煙防止	※小・中・義務教育学校への喫煙防止教育、薬物乱用防止教室	小・中・義務教育学校への喫煙防止教育、薬物乱用防止教室やから教育を実施し、たばこによる健康への影響や禁煙の重要性について啓発を行う。	★教育指導課	○(実施)	小・中・義務教育学校への喫煙防止教育、薬物乱用防止教室やから教育を実施し、たばこによる健康への影響や禁煙の重要性について啓発を行う。 小・中・義務教育学校 市立長浜病院 長浜赤十字病院 長浜市立湖北病院 湖北農業会 湖北農業会よりよいがん医療をめざす近江の会	市内小中義務教育学校の体育科の保健領域及び保健体育科で実施した。 3小学校においては、がん専門医及びがん経験者から直接話を聞く機会を設定して、がん教育を行った。	長浜市北部の小学校にがん専門医とがん経験者にきていただき、今年度が3年目となる。小学校でがん教育を行なう下地を作ってきたが、まだその範囲は狭い。今後は、より多くの学校で実施できるよう周知を行っていく。	準備中	取組なし		○			連携あり	がん専門医 がん経験者	2	○		無し		
10 禁煙増進、受動喫煙防止	※がん教育	小・中・義務教育学校への喫煙防止教育、薬物乱用防止教室やから教育を実施し、たばこによる健康への影響や禁煙の重要性について啓発を行う。	★健康推進課	○(実施)	小・中・義務教育学校への喫煙防止教育、薬物乱用防止教室やから教育を実施し、たばこによる健康への影響や禁煙の重要性について啓発を行う。 小・中・義務教育学校 市立長浜病院 長浜赤十字病院 長浜市立湖北病院 湖北農業会 湖北農業会よりよいがん医療をめざす近江の会	・医師、がん体験者によるがん教育を市内12校の中学校、3校の小学校で実施。 ・市内25校の小学5年生に健康新メッセージ配布	・他機関と連携を取りながら、引き続き実施。	準備中	取組あり		○			連携あり	事業の講師依頼	7(担当課団体 の薬剤師会を抜 いた数)	○	○		無し	
11 禁煙増進、受動喫煙防止	※長浜健康ステーション事業での禁煙・受動喫煙防止啓発	買物の場での健康測定会等で、健康を損なう要因として喫煙についても触れ、禁煙及び受動喫煙防止について啓発を行う。	健康企画課	○(実施)	健康ステーション事業にて、野菜摂取量・血管年齢測定の際に、結果をひもえき喫煙者またはその家族にタバコの害や禁煙の重要性を説明。生活改善アドバイスでの禁煙啓発、参加者への啓発媒体配布	引き続き多様な健康観、健康レベルの方が集う健康ステーション事業の場を活用し、結果が低い方や、家族に喫煙者がいる方、若者に対して禁煙等の啓発を行う。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	連携あり	場所の確保 ブース出展 人員派遣 機器貸出 事業周知 協賛品提供	11	○	○	無し		
12 禁煙増進、受動喫煙防止	※保健所や商工会議所、商工会などと連携した、受動喫煙防止の推進(受動喫煙にあわない環境づくり)	湖北健康福祉事務所や長浜商工会議所、長浜市商工会等の経済団体と連携し、市内の事業所や商店街の公共空間における受動喫煙防止を促進する。	健康企画課 (商工振興課)	△(一部実施)	7月～8月の企業訪問時に健康推進課からの「職場でメンタルヘルス研修」チラシを持参し、啓発をうながしてきました。その後、講演会において、講演「メンタルヘルスの基礎知識」の中で啓発しました。	企業内催りで「職場でメンタルヘルス研修」チラシを持参し、啓発をうながしてきました。その後、講演「メンタルヘルスの基礎知識」の中で啓発しました。 参加者数(会場、録画視聴含)141名	準備中														
13 妊婦・子どもをもつ保護者、20歳未満の人の喫煙防止	※がんを知ろう展示会を通じた啓発活動(図書館等)	がん啓発の展示会で、たばこによる健康への影響についても展示し啓発する。	健康推進課	○(実施)	・R7.2にさなみタバコ、市立図書館、ウェルセンターにて「がんを知ろう展示会」を開催	・他機関と連携を取りながら、引き続き実施。	未着手	取組あり		○	○		連携あり	展示会の会場依 頼、共同開催	5	○	○	無し			

2【喫煙分野】

## 3【飲酒分野】

R6実績		事業執行率 10割 子どもや保護者(妊婦)、生活習慣病リスク者を対象にした啓発や学校の授業は確実に実施。 その他多数の市民に対する適正飲酒等に関する啓発や健康相談を、量販店と連携し買い物の場にて実施。自身の体質や体調をふまえ適切に飲酒できるよう啓発。		R6 取組実績		R7 事業実施計画												サービス利便性向上、効果的な事業実施のためのデジタル技術・機器等の活用 (事業周知、事業申込方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など)	主な活用状況	
R7進捗状況		進捗状況:10割 各世代に配慮した取組の割合:10割 関係機関との連携割合:6割				各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか						関係課や各種団体等と連携しているか(事業企画・運営、ブース出展、講座実施、機器貸出、人員派遣、事業周知協賛力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳					
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施箇所、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代 (0~19歳)	就労・保護者世代 (20~64歳)	シニア世代 (65歳以上)	府内関係課 ・学校等	地域団体	民間企業	教育機関 (大学等)					
1 適正飲酒の推進	特定保健指導・健康栄養相談	生活習慣病の予防のために保健師や栄養士が適正飲酒について指導を行う。	健康推進課	○(実施)	特定保健指導参加者357人のうち飲酒習慣のある者に対して適正飲酒の指導人90人	飲酒習慣にある者に対し、適正飲酒について指導を行う。	執行中	取組あり		○	○	連携なし					無し			
2 適正飲酒の推進	※適切な飲酒方法(健康測定や食事に関する啓発にあわせる)	体に負担をかけない飲酒の仕方(適正量、休肝日の必要性、飲酒の際の食事の食べ合わせや選び方)について、パンフレットを作成し、健康測定時や食事分野等の啓発に合わせて市民に周知する。	健康企画課	○(実施)	健康ステーション事業として、量販店での健康チェックを実施。夏場飲酒量が増える時期にアルコール体質チェックを行い、望ましい飲酒方法や飲酒による健康への影響について啓発。 実績:55人	飲酒に関する啓発は、参加者の関心を引くことが難しかったため、アルコール体質チェックをはじめ、自分事として意識してもらう中で飲酒方法などについて啓発していく。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	連携あり	場所の確保 ・ブース出展 ・人員派遣 ・機器貸出 ・事業周知 ・協賛品提供	11	○	○	○	無し	
3 妊婦・20歳未満の人の飲酒の防止	母子健康手帳交付	手帳交付時に、妊婦や家族の飲酒状況を把握して、必要な相談支援・保健指導を実施する。	健康推進課	○(実施)	・母子手帳交付者711人のうち、飲酒をしていた2人の妊婦に全数指導した。	妊婦に一定数の飲酒者がいるため継続指導が必要。	執行中	取組あり	○			連携なし					有り	□フォームによる母子手帳交付の窓口予約を導入している。		
4 妊婦・20歳未満の人の飲酒の防止	保健体育の授業	小学校・義務教育学校前期課程(5・6年)や中学校・義務教育学校後期課程の保健体育の授業の中ではこ・飲酒による健康への影響、薬物の害について説明する。	教育指導課	○(実施)	市内小中義務教育学校で実施	市内小中義務教育学校において、各学校の薬剤師から薬物乱用防止教室を受講している。アルコールが与える影響についてもその講義の中で学習している。	準備中	取組あり		○		連携あり	学校 ・学校薬剤師	2	○	○		無し		
5 妊婦・20歳未満の人の飲酒の防止	※長浜健康ステーション事業での、未成年飲酒防止啓発	買物の場の健康測定会の場などで、食事関連の啓発と一緒に、妊婦や20歳未満の人の飲酒防止について啓発を行う。	健康企画課	○(実施)	健康ステーション事業として、量販店での健康チェックを実施。夏場飲酒量が増える時期にアルコール体質チェックを行い、本人及び家族に対して飲酒による健康へのリスクや、未成年の飲酒防止について啓発	自身の体質や体調をふまえた飲酒方法について、アルコール体質チェックなどを絡めながら、引き続き市民に20歳未満・妊婦の飲酒防止について啓発を行う。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	連携あり	場所の確保 ・ブース出展 ・人員派遣 ・機器貸出 ・事業周知 ・協賛品提供	11	○	○	○	無し	

#### 4【こころ・休養分野】

R6実績	事業執行率：10割（事業番号1-3を除く） 学校や乳幼児健診の場で、子どもや保護者に対して生活リズムや利用が増えているスマートフォン等との付き合い方について啓発。また、從来のワークショップや一晩成講座・企業内人権訪問に加え、企業経営者研修での関わりを通して、企業従業員に向けて心の健康への啓発を図っている。			R6 取組実績		R7 事業実施計画																	
						R7事業実施状況						各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係団体や各種団体等と連携しているか(事業企画、運営、ブース出展、講座実施、機器貸出、人員派遣、事業周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳			
R7進捗状況	進捗状況：10割（事業番号1-3を除く） 各世代に配慮した取組の割合：10割（事業番号1-3を除く） 関係機関との連携割合：5割（事業番号1-3を除く）									R7事業実施状況	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代（0～19歳）	就労・保護者世代（20～64歳）	シニア世代（65歳以上）	主な連携概要	連携している機関の数	府内関係課園・学校等	地域団体	民間企業	教育機関（大学等）	（事業周知、事業申込方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など）	
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施箇所、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代（0～19歳）	就労・保護者世代（20～64歳）	シニア世代（65歳以上）	主な連携概要	連携している機関の数	府内関係課園・学校等	地域団体	民間企業	教育機関（大学等）	サービス利便性向上、効果的な事業実施のためのデジタル技術・機器等の活用	主な活用状況				
1 適切な睡眠習慣の確立	教科(保健体育・家庭) 学年・道徳	生活リズムを整えるため、早寝、早起き、朝ご飯の大切さを啓発する。	教育指導課	実施	学校ごとの実施もあるため、全体把握が難しい状況																		
2 適切な睡眠習慣の確立	新一年生入学説明会	4月に入学する子どもの保護者へ、早寝、早起き、朝ご飯の大切さを啓発する。	教育指導課	実施	学校ごとの実施もあるため、全体把握が難しい状況																		
3 適切な睡眠習慣の確立	PTA研修会	スマートフォン、ゲームなどの長時間の使用が睡眠不足をはじめ、様々な能力の低下や生活習慣などに影響を及ぼしている現状を周知し、時間を決めて使用する大切さを啓発する。	教育指導課	実施	学校ごとの実施もあるため、全体把握が難しい状況																		
4 適切な睡眠習慣の確立	企業内人権啓発・啓発事業	市内事業所における人権意識を向上させ、公平公正な採用と明るく働きやすい職場づくりを推進するため、企業内人権教育推進協議会に加入する企業に対して、各種研修会や企業訪問等を実施する。	商工振興課	△(一部実施)	企業訪問時に健康推進課「こちらの相談啓発ポスター」を配布し、推進員が働きかけを行った。	執行中	取組あり			○		連携あり	ポスター・チラシの配布	2	○		○		有り	メールや録画配信			
5 適切な睡眠習慣の確立	特定保健指導	国民健康保険加入者の40～74歳の人に対し、生活習慣病対策として特定健康診査を実施する。 健診結果により生活習慣の改善に努める必要のある人にに対して保健指導を実施し、睡眠の大切さを伝える。	健康推進課	○(実施)	特定保健指導・実施人数357人・実施割合56.0%（数値は5月末時点）	保健指導対象者に対して、引き続き睡眠の大切さを伝えていく。	執行中	取組あり		○	○	連携なし							無し				
6 適切な睡眠習慣の確立		スマートフォンの使用ルールやゲームとの適切なつきあい方（時間、目から画面までの距離等）について啓発し、意識を高める。	教育指導課	○(実施)	市内小中義務教育学校において適切な生活習慣について、授業等の中で考えたり、振り返ったりする中で学習している。	執行中	取組あり		○			連携なし							無し				
7 適切な睡眠習慣の確立		乳幼児健診や乳幼児相談等で、早寝、早起き、朝ご飯の大切さに加え、スマートフォンやゲームとの適切な使用ルール(時間等)について啓発する。	健康推進課	○(実施)	2歳8か月受診率:91.2%	引き続きパンフレットを配布し啓発を行っていく。	執行中	取組あり	○	○	○	連携なし							有り	配付パンフレットの一部電子化			
8 適切な睡眠習慣の確立		長浜商工会議所・長浜市商工会等の経済団体と連携し、事業所の健康経営の推進とともに、様々な機会を活用してワークショップ・パンフレットや長時間労働の是正について啓発する。	★健康企画課 商工振興課 人権施策推進課 長浜商工会議所 長浜市商工会	△(一部実施)	長浜保健所(湖北地域連携会議)がとりまとめる、事業所等向けの出前講座・会員事業所の健康経営を活用する、市出張講習やマントルハルス研修の内容も掲載し、周知向上・利活用促進を図った。	執行中	取組あり			○		連携あり	情報共有市との情報のとりまとめ・発信	3	○				有り	市出前講座のネット申込対応			
9 適切な睡眠習慣の確立		長浜商工会議所・長浜市商工会等の経済団体と連携し、事業所の健康経営の推進とともに、様々な機会を活用してワークショップ・パンフレットや長時間労働の是正について啓発する。	★健康推進課 健康企画課 商工振興課 人権施策推進課 長浜商工会議所 長浜市商工会	○(実施)	職場でメンタルヘルス研修案内約300カ所・研修開催2回61人	企業訪問時や職場でメンタルヘルス研修時に引き続き睡眠の大切さを伝えいく。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	啓発、ゲートキー・バー養成研修	約300	○	○	○		有り	事業申込やアンケート実施のロゴフォームの活用			
# 適切な睡眠習慣の確立	企業内人権啓発・啓発事業	長浜商工会議所・長浜市商工会等の経済団体と連携し、事業所の健康経営の推進とともに、様々な機会を活用してワークショップ・パンフレットや長時間労働の是正について啓発する。	★商工振興課 健康企画課 商工振興課 人権施策推進課 長浜商工会議所 長浜市商工会	△(一部実施)	企業経営者研修会を長浜cheer forスクールと共に催し、「ウェルビーイングな働き方」について講演を実施した。参加者（会場、録音視聴含）225人	長浜cheer for育て実行委員会とコラボし、従来の企業・事業所に健診結果を相談相談の予約率は90%であったが、休調不規則により当日キャンセルがあり、実施率は58%（実施率80%）にこだわった。参加者も増えた業の関心も高かつたことから、市民も関心も高かつたことから今後も関係機関と連携した取組が必要。	執行中	取組あり			○		連携あり	ポスター・チラシの配布	2	○		○		有り	メールや録画配信		
11 適切な睡眠習慣の確立		長浜商工会議所・長浜市商工会等の経済団体と連携し、事業所の健康経営の推進とともに、様々な機会を活用してワークショップ・パンフレットや長時間労働の是正について啓発する。	★人権施策推進課 健康企画課 商工振興課 人権施策推進課 長浜商工会議所 長浜市商工会	○(実施)	・滋賀県仕事と生活の調和推進月間に合わせて11月に市HPにてワークショップ・パンフレットについて啓発を実施。参加者（会場、録音視聴含）58コマ（実施）/72コマ（設定）	女性の悩み相談相談の予約率は90%であったが、休調不規則により当日キャンセルがあり、実施率は58%（実施率80%）にこだわった。利用者の年齢層が限定的であることから、市民の認知度がどの程度あるのか不明である。	執行中	取組なし					連携なし						無し				
# 適切な睡眠習慣の確立		様々なイベントの場で、健康測定等と合わせて睡眠の大切さについて啓発を行う。	健康企画課	○(実施)	質問の場で行う、健康ステーション事業にて、年に3回生生活改善アドバイスブースを設置。生活習慣改善の中での生活習慣の見直し、睡眠の重要性を説明。計3回・81人	引き続き多様な健康観、健康レベルの方が集う健康ステーション事業の場を活用し、測定や生活改善相談の場で、睡眠の大切さ、生活習慣改善について説明していく。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	連携あり	場所の確保、ブース出展、人員派遣、機器貸出、協賛品提供	11	○	○	○		無し			
# 適切な睡眠習慣の確立		様々なイベントの場で、健康測定等と合わせて睡眠の大切さについて啓発を行う。	健康推進課	○(実施)	ゲートキー・バー養成研修開催5回200人、啓発活動15回	ゲートキー・バー養成研修時に引き続き睡紙の大切さを伝えていく。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	啓発、ゲートキー・バー養成研修	約15	○	○	○		有り	事業申込やアンケート実施のロゴフォームの活用			
# 余暇活動を推進する	子どもの学びと生涯学習のまちづくり推進事業	まちづくりセンター等で、子どもから大人まで地域の住民を対象として、地域の特色を生かし、ニーズに応じた体験活動や学習活動等の生涯学習機会を提供する。	生涯学習課	○(実施)	子どもから大人までを対象に、市内すべてのまちづくりセンター等において生涯学習講座を実施した。 開催座合計 355回 参加者合計 12,771人 ※委託契約18施設、直営2施設	引き続き、地域づくり協議会等（委託契約18施設）や市民活動課（直営2施設）と連携しながら、多様な世代が参加してもらえるよう、地域の特色を生かした人づくり、つながりづくり・地域づくりに繋がる学びの機会を提供していくことが必要である。	執行済	取組あり			○		連携あり	地域づくり協議会等（委託契約18施設）や市民活動課（直営2施設）と連携し、生涯学習講座を実施。	19	○	○			有り	講座やイベント情報をさすなネットや地域づくり協議会等のホームページなどを用いて周知を広げている。また、参加申込はQRコードを用いて受付をしている地域もある。		

## 5【歯・口腔の健康分野】

R6実績				R6 取組実績					R7 事業実施計画										
									R7事業実施状況	各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係課や各種団体等と連携しているか(事業課、保健指導課、幼稚園、保育園、小学校、講師派遣、機器貸出、人員派遣、事業周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳	
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント(回数、実施箇所、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等(実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代(0~19歳)	就労・保護者世代(20~64歳)	シニア世代(65歳以上)	府内関係課園・学校等	地域団体	民間企業	教育機関(大学等)	(事業周知、事業申請方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など)			
1 むし歯や歯周病の予防	むし歯予防啓発(歯周病予防、口腔機能の維持・向上含む)	広報、チラシ、子育て支援アソブ、動画配信(お茶でバレイ!ムジハイキン)で市民へ広く啓発する。また、イベント時に口腔環境の維持向上のために必要な知識の普及を図る。 むし歯や歯周病予防のため糖分が入っていない飲み物を日常的に飲むことを勧める。 各園で仕上げ磨きの重要性や乳幼児期から口腔環境を整えることの必要性を啓発する。	★健康推進課 幼稚園、保育園 認定こども園 湖北歯科医師会 歯科衛生士会 健康推進員協議会	○(実施)	啓発チラシ配布:約4,000枚(10か月児健診受診者633人、園年少児796人、小学3年生916人、中学1年生1,015人、その他、出前講座参加者等)・市広報媒体で情報発信。	引き続き広報媒体を活用するとして啓発を行っていく。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	啓発資料の活用や保護者へ配信(湖北歯科医師会、教育指導課、幼稚課、健康推進員協議会)	4	○	○	有り	アプリ(ながスマ、さすなネット)の活用
2 むし歯や歯周病の予防	むし歯予防啓発(歯周病予防、口腔機能の維持・向上含む)	広報、チラシ、子育て支援アソブ、動画配信(お茶でバレイ!ムジハイキン)で市民へ広く啓発する。また、イベント時に口腔環境の維持向上のために必要な知識の普及を図る。 むし歯や歯周病予防のため糖分が入っていない飲み物を日常的に飲むことを勧める。 各園で仕上げ磨きの重要性や乳幼児期から口腔環境を整えることの必要性を啓発する。	★幼稚課 健康推進課 幼稚園、保育園 認定こども園 湖北歯科医師会 歯科衛生士会 健康推進員協議会	○(実施)	・年1回歯科検診を実施。 ・市内各園において6月を中心に歯磨き指導(集会)を看護師、食育教諭、保育者が適宜実施。 ・歯磨きに関するたよりを年1回発行し保護者に啓発。	・歯科検診後の結果報告と共に受診勧奨をしているが、受診にはつながりがない場合もある。 ・虫歯の有無については個人差があり、家庭での歯磨きに対する意識の高さの影響が大きい。歯磨きの仕上げ磨きの重要性を、保護者により広く啓発していくことが必要。	執行中	取組あり		○	○		連携あり	啓発媒体などの共有等		○		無し	
3 むし歯や歯周病の予防	歯磨き等の習慣化の推進	食後の歯磨きやおやつ後のうがい、最後にお茶を飲むことが習慣づくように各園で取り組む。	★幼兒課 幼稚園、保育園 認定こども園	○(実施)	・市内各園において日常的に歯みがき(お茶)を実施 3~5歳児:昼食後に歯磨きを実施。 0~2歳児:歯磨きの代わりにお茶を飲用。	・毎日の取組で園内での歯磨きは習慣づいてきたが、家庭でも継続できよう、歯磨きや仕上げ磨きの重要性を、保護者により広く啓発していくことが必要。	執行中	取組あり		○			連携あり	園との連携		○		無し	
4 むし歯や歯周病の予防	歯磨き等の習慣化の推進	食後の歯磨きやおやつ後のうがい、最後にお茶を飲むことが習慣づくように各園で取り組む。	教育指導課 小学校、中学校 義務教育学校	○(実施)	市内小中義務教育学校で給食後の歯みがきや歯と口の週間に合わせて、ブラッシングの指導をしたりするなど、歯みがき等の習慣化の推進について取り組んでいるが、コロナ禍の影響から未だ抜け出せてないところもある。	学校においては、共同水道を使用していることから、水しぶき(飛沫)が飛ぶことがある。 コロナ禍においては、飛沫感染が懸念されていたが、未だこの状態から抜け出せず、思うように歯みがき指導等できないのが現状である。	執行中	取組あり			○		連携あり	学校との連携	35	○		無し	
5 むし歯や歯周病の予防	※園での昼食後の歯みがき推進	※園での昼食後の歯みがきを推進する。	幼稚課	○(実施)	・市内各園において日常的に歯みがき(お茶)を実施 3~5歳児:昼食後に歯磨きを実施。 0~2歳児:歯磨きの代わりにお茶を飲用。 ・市内各園において6月を中心に歯磨き指導を適宜実施。	・歯磨きの重要性を、保護者により広く啓発していくことが必要。	執行中	取組あり		○			連携なし					無し	
6 むし歯や歯周病の予防	※小中学校での昼食後の歯みがき推進	※小中学校での昼食後の歯みがきを推進する。	教育指導課	○(実施)	市内小中義務教育学校で給食後の歯みがきや歯と口の週間に合わせて、ブラッシングの指導をしたりするなど、歯みがき等の習慣化の推進について取り組んでいるが、コロナ禍の影響から未だ抜け出せないところもある。	学校においては、共同水道を使用していることから、水しぶき(飛沫)が飛ぶことがある。 コロナ禍においては、飛沫感染が懸念されていたが、未だこの状態から抜け出せず、思うように歯みがき指導等できないのが現状である。	執行中	取組あり			○		連携あり	学校	35			無し	
7 むし歯や歯周病の予防	※乳幼児健診をきっかけとするむし歯リスク児の事後フォロー	1歳8か月児及び2歳8か月児健診の結果からむし歯リスク児をスクリーニングし、健診後のフォローする。	健康推進課	○(実施)	・1歳8か月でのフォローアップ(全児)(7.3%) ・2歳8か月でのフォローアップ(全児)(7.0%)	さらなる3歳児のむし歯有病者率の低下を目指すため、ハイリスク基準や精度を見直す必要がある。	執行中	取組あり		○			連携なし					有り	ロゴフォームを利用した生活状況調査の実施
8 むし歯や歯周病の予防	※糖分の入っていない飲み物を飲むことの啓発(むし歯予防啓発)	むし歯や歯周病予防のため、「お茶でバレイ!むし歯」のキャラクターフィーチャーを使って、糖分の入っていない飲み物を日常的に飲むことを勧める。	★健康推進課 幼稚課 教育指導課 湖北歯科医師会 湖北健康福祉事務所	○(実施)	啓発チラシ配布:約4,000枚(10か月児健診受診者633人、園年少児796人、小学3年生916人、中学1年生1,015人、その他、出前講座参加者等)・市広報媒体で情報発信。	引き続き啓発を行っていく。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	啓発資料の活用や保護者へ配信(湖北歯科医師会、教育指導課、幼稚課、健康推進員協議会)	4	○	○	有り	アプリ(ながスマ、さすなネット)の活用
9 口腔機能の維持向上	※出前講座でのお口のフレイル予防啓発	出前講座や高齢者サロン等で、口腔機能を高めるための情報を提供する。	★健康企画課 健康推進課 長寿推進課 社会福祉協議会	○(実施)	健康企画課 健康推進課 長寿推進課 社会福祉協議会 R6-2回 30人	健康出前講座において、歯科衛生士によるお口の介護予防講座実施 ※健康推進課養成講座での啓発、健診結果説明会での啓発を実施(健康推進対応)	執行済	取組あり			○	○	連携あり	受講啓発	4	○	○	有り	ロゴフォームを利用したネットからの受講申込の実施
# 口腔機能の維持向上	※高齢者の通いの場での健康教育(フレイル予防)など	出前講座や高齢者サロン等で、口腔機能を高めるための情報を提供する。	健康企画課 健康推進課 長寿推進課 社会福祉協議会	○(実施)	<通いの場での健康教育>(累計36か所、(累計)906人) ※健康推進課による出前>(累計)2回(累計)40人	介護予防事業所による地域団体への出前講座では、他の項目より依頼数が非常に少ない状況。健診維持のためにお口の健康、介護予防が重要である旨を伝え、受講頻度が高い団体にはお口の講座を受けてもらうなど働きかけが重要。各団体と現状を踏まえ働きかけていく。	執行中	取組あり			○	○	連携あり	事業実施、医療連携	5	○	○	無し	
# 口腔機能の維持向上	※ながらはまちゃんせ体操(お口版)の周知・活用推進	きゃんせ体操(お口版)などのお口の体操を周知・活用する。	健康企画課	○(実施)	新たにお口の体操(ながらはまはつきりこば)を開設課と共に作成し、府内や地域団体と共に実施し、市民に向けた口腔機能向上を図っていく。	紙媒体だけでなく、動画として編集し、市民への見入れ化を通して、連携やすい環境をつくる。 あわせて、府内や地域団体の事業でそれぞれ利用し、市民に向けた口腔機能向上を図っていく。	執行中	取組あり				○	連携あり	啓発場所の共有各課の取組みにおける一的な活用	5	○	○	有り	ながらはまつきり言葉(体操)の動画化(市ユーチューブでの発信)

## 5【歯・口腔の健康分野】

## 6【生活習慣病予防分野】

R6実績		R6 取組実績				R7 事業実施計画															
R7進捗状況						R7事業実施状況		各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係団体等と連携しているか(事業企画・運営、ブース出展、講座実施、機器貸出、人員派遣、事業周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳				サービス利便性向上、効率的な事業実施のためのデジタル技術、機器等の活用(事業周知、事業申込方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など)	主な活用状況
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント(回数、実施回数、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等(実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	R7事業実施状況	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代(0~19歳)	就労・保護者世代(20~64歳)	シニア世代(65歳以上)	主な連携概要	連携している機関の数	庁内関係課・学校等	地域団体	民間企業	教育機関(大学等)			
1 生活習慣病予防	特定健診、生活習慣病健診、肝炎ウイルス検診	身長体重、血圧、医師の診察、採血などにより、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげる。	★健康推進課 医療機関	○(実施)	・特定受診者516人、38.7% (R7.3)、生活受診者319人、肝炎受診者384人	・特定健診の受診率が低く、未受診者への対策が必要である。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	7	○	○	○		有り	口ゴフォームを利用した申込み	
2 生活習慣病予防	骨粗しょう症検診	骨粗しう症状検査を実施し、早期発見・早期治療につなげる。	★健康推進課 医療機関	○(実施)	・受診者296人(定員300人)・6医療機関で実施	・対後者数2,824人に対して定員数が少ない・希望者が多いので早い段階で定員に達する	執行中	取組あり			○	○	連携あり	「滋賀県二次骨折予防検診モデル事業」に参加	2	○				有り	口ゴフォームを利用した申込み
3 生活習慣病予防	がん検診	胃、大腸、子宮、乳、肺の各検診を実施し、がんの早期発見・早期治療につなげる。	健康推進課	○(実施)	胃がん(X線)2,164人 胃がん(内視鏡)186人 大腸4,287人 肺1,843人 子宮2,395人 乳2,542人	定期的に受診する人を増やすし、早期発見早期治療につながる人を増加させる事が必要。	執行中	取組あり			○	○	連携あり	検診実施医療機関						有り	予約をインターネットからでも可能にしている。
4 生活習慣病予防	がん検診受診率向上対策	通知や電話による受診勧奨や協会けんぽ健診会場での同時受診などで検診受診につなげる。	★健康推進課 健康推進員協議会 地域で健康づくりを行う団体	○(実施)	・電話や通知、訪問による個別勧奨 ・自治会回覧で総合健診案内 ・医療機関・協会けんぽ・商工会・認定こども園・子育て支援センター・地協・健康推進員との連携	・個別での勧奨を実施すると、受診につながることが多いので、継続していく。 ・地域などと連携し、市全体の受診率を把握し向上対策を実施していく必要がある。	執行中	取組あり			○	○	連携あり	商工会議所、市商工会、企業	3		○			無し	
5 生活習慣病予防	特定健診受診勧奨	国民健康保険加入中の40歳~74歳の人に対し、特定健診に対する理解浸透と健康意識の向上を促し、特定健診の受診につなげる。	保険年金課 ★健康推進課 健康推進員協議会 地域で健康づくりを行う団体	○(実施)	・電話や通知、訪問による個別勧奨 ・自治会回覧で総合健診案内 ・医療機関・協会けんぽ・商工会・認定こども園・子育て支援センター・地協・健康推進員との連携	・個別での勧奨を実施すると、受診につながることが多いので、継続していく。 ・地域などと連携し、市全体の受診率を把握し向上対策を実施していく必要がある。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	・医療機関・協会けんぽ・商工会・認定こども園・子育て支援センター・地協・健康推進員	7	○	○	○		有り	口ゴフォームを利用した申込み
6 生活習慣病予防	がん教育、講師派遣	小・中・義務教育学校で、がんに関する基礎知識やがん経験者の体験談を話すことで、若い頃から規則正しい生活習慣を身につけ、予防の意識づけを行う。がん教育に講師を派遣し、がんに関する正しい情報を提供する。	★健康推進課 小学校・中学校 義務教育学校 教育指導課 医療機関 よりよいかん医療をめざす近江の会	○(実施)	小中義務教育学校35校で実施	令和6年度末時点においては、市内小学校に専門医とがん経験者を講師として招いたがん教育を実践した。	準備中			○			連携あり	市内各校 健康推進課 市立長浜病院 がん患者の会	4	○	○				
7 生活習慣病予防	高齢者の保健事業と介護予防の一一体的実施事業	循環器疾患や運動器疾患の発症リスクがある人へ、訪問での保健指導や通いの場での健康教育・健康相談を実施する。	★長寿推進課 保健年金課 健康推進課 健康企画課	○(実施)	<ハイリスク訪問> ・重証化予防 ・介入者数29人、介入率100% ・健常者不眠症者介入者 ・介入者数109人、介入率89.3% <通いの場での健康教育> (累計1367所、(累計)906人)	・健康状態不明者へ健診受診勧奨を行つかず、受診行動にはなかなかいく現状がある。他機関と連携して可能な訪問ができる体制づくりが必要。 ・健常貧困において、日常的にフレイル予防の活動を取り入れることで、28.7%の方が口腔機能が改善した(口腔参加者)。引き続き市全体としてフレイルの見切制度や子年の気運を上げていけるよう各機関と連携していく必要がある。	執行中				○	連携あり	事業実施、医療連携	7程度	○	○	○		無し		
8 生活習慣病予防	ながはま健康ステーション事業	企業と連携し、買物の場等で、市民が気軽に健康チェック等を体験できる機会を提供する。	★健康企画課 市内事業所 健康づくりに関する連携協定を結んだ事業所等	○(実施)	健康ステーション事業 店舗型14回、1,419人 出張型 5回、379人	買物の場での健康チェックを中心実施し、あわせて健診受診諮詢を行った。 R6年度は木之本の量販店で実施の他、合同会社LOCOの親子向け事業、さざなみタウンでの実施を通じて親世代に対しても測定等を通して、健診受診啓発を実施した。	執行中	取組あり	○	○	○	○	連携あり	場所の確保 ・ブース出展 ・人員派遣 ・機器貸出 ・事業周知 ・協賛品提供	11	○	○	○		有り	測定機器を活用し、生活習慣の結果が数値で見えるようにしている
9 生活習慣病予防	※乳幼児健診・乳幼児相談での肥満予防・適正体重維持に関する啓発	乳幼児相談や乳幼児健診、その他の事業で子どもの頃からの肥満予防・適正体重の維持について啓発を行う。	健康推進課	○(実施)	母子手帳発行者数:711人 4月発行者数:受診率97.9% 10月発行者数:受診率98.4% 1才8ヶ月健診:受診率99.2% 2才8ヶ月健診:受診率91.2% 3才8ヶ月健診:受診率91.8%	全健診で引き続き啓発を実施していく。	執行済	取組あり	○	○			連携あり	体重等について医療機関と必要に応じて連携する。	1(医療機関)		○			無し	
10 生活習慣病予防	※小中学校の食育事業における肥満予防等の啓発	乳幼児相談や乳幼児健診、その他の事業で子どもの頃からの肥満予防・適正体重の維持について啓発を行う。	○(実施)	小中学校35校において実施	市内小中義務教育学校においては、毎学期発育測定を実施し、子どもたちの体重増減の推移について把握するよう努めている。	執行中	取組あり		○			連携あり	市内各校	35	○						
11 生活習慣病予防	※園から保護者向けに子どもの適切な生活習慣に関する指導・啓発	乳幼児相談や乳幼児健診、その他の事業で子どもの頃からの肥満予防・適正体重の維持について啓発を行う。	幼児課		各園での取組はあるが、全体把握が難しい状況																
12 生活習慣病予防	※商工会議所、商工会等の経済団体と連携した健(検)診受診啓発	長浜商工会議所や長浜市商工会などの経済団体と連携し、各種健(検)診の受診啓発を行う。	★健康推進課 保険年金課	○(実施)	商工会議所会報誌でがん検診の案内掲載、市商工会会報誌に特定健診受診勧奨ちらしを同封、長浜キヤノン株式会社に乳がん啓発パンフレット販売	継続的な取組。連携企業の拡大。	執行中	取組あり			○		連携あり						無し		
13 病気の悪化予防・管理	特定健診要医療フォロー事業	特定健診の結果、要医療判定以上の人に、医療受診を勧奨する。	健康推進課	○(実施)	要医療受診率51.5%、ハイリスク者46.2%、ハイリスク者以外53.3%(R6.3月時点)	受診勧奨判定値を超えている人に対して、文書、電話、訪問による健診指導を引き続き行う。	執行中	取組あり			○	○	連携なし						有り	口ゴフォームを利用した結果報告	
14 病気の悪化予防・管理	がん検診要精検者フォロー事業	がん検診後、精密検査が必要と判断された人に対し、医療受診を勧奨する。	健康推進課	○(実施)	要精査率 胃93.5% 大腸87.4% 肺98.1% 子宮93.7% 乳94.6%	要精査になった場合には、必ず手紙や電話で受診勧奨をしている。確実に受診につながるよう勧奨していく。	執行中	取組あり			○	○	連携あり	精密検査実施医療機関					有り	受診の有無をインターネットで見えるようにしている	
15 病気の悪化予防・管理	※慢性閉塞性肺疾患(COPD)の普及啓発	慢性閉塞性肺疾患(COPD)という疾患があること、及びCOPDは腰痛が大きな原因になっていることを啓発する。	健康推進課	-(元々事業予定なし)	※啓発リーフレットの送付 対象者:令和5年度特定健診受診者のうち問診票で腰痛習慣がある回答した者 人数:582人	COPDの啓発チラシを送付し、予防と治療について周知している。	未着手						連携なし						無し		
16 病気の悪化予防・管理	※慢性閉塞性肺疾患(COPD)の普及啓発	慢性閉塞性肺疾患(COPD)という疾患があること、及びCOPDは腰痛が大きな原因になっていることを啓発する。	保険年金課	○(実施)	※啓発リーフレットの送付 対象者:令和5年度特定健診受診者のうち問診票で腰痛習慣がある回答した者 人数:582人	COPDの啓発チラシを送付し、予防と治療について周知している。	準備中	取組あり			○	○	連携あり	健康企画課に禁煙外来について確認	1	○				無し	

## 6【生活習慣病予防分野】

R6実績				R6 取組実績				R7 事業実施計画												
								R7事業実施状況	各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係課や各種団体等と連携しているか(事業企画・連絡、ブース出展、講座実施、機器貸出、人員派遣、事業周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳			
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施回数、実施割合、参加人数など)	R6年度末時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代 (0~19歳)	就労・保護者世代 (20~64歳)	シニア世代 (65歳以上)	主な連携概要	連携している機関の数	庁内関係課園・学校等	地域団体	民間企業	教育機関 (大学等)			
17 病気の悪化予防・管理	※慢性閉塞性肺疾患(COPD)の普及啓発	喫煙している人に、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の危険性を伝える。	健康推進課	○(実施)	特定保健指導対象者の内、喫煙者:68名に実施	引き続き禁煙指導を実施していく。	執行中	取組あり			○	○	連携なし						無し	
18 病気の悪化予防・管理	※ウイッグ購入費補助(がん患者支援)	がん相談支援センターと連携し、がんになった人が安心して生活できるよう支援する。	★健康推進課 市立長浜病院	○(実施)	・市立長浜病院の主催する「がんフォーラム」にブースを設けて、啓発した。	・今後も継続して連携していく。	執行中	取組あり			○	○	連携あり	事業周知	2	○	○		無し	

## 7【地域医療分野】

R6実績		事業実行率 10割 適正化受診に関する啓発や、重複受診者等への訪問などを関係課が確実に実施。 今後も、市民が適切な医療を受けられるよう、適正化受診について啓発を続ける。			R6 取組実績			R7 事業実施計画											
R7進捗状況		進捗状況:10割 各世代に配慮した取組の割合:5割 関係機関との連携割合:10割																	
中項目(分類①)	事業名	事業概要	担当課・団体	R6 実施の有無	R6実績に関するコメント (回数、実施箇所、実施割合、参加人数など)	R6年度未時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代 (0~19歳)	就労・保護者世代 (20~64歳)	シニア世代 (65歳以上)	広報周知に教育委員会等を通じてチラシの配布等に協力いただく	5	○	○	○	○	有り	
1 医療資源について市民理解を深める	医療資源や医療提供体制の情報発信や適正受診の啓発	医療資源について理解を推進し、適正受診を啓発する。	★地域医療課 保険年金課 健康推進課 医療機関 長浜米原地域医療支援センター	O(実施)	救急医療や適正受診についての啓発をチラシの配布や広報、ホームページ等で実施。	かかりつけ医をもつことで適正受診についての啓発をチラシの配布や広報、ホームページ等で実施。	執行中	取組なし				連携あり	滋賀県国保連合会に委託して重複受診等の訪問を実施	2	○	○			無し
2 医療資源について市民理解を深める	医療資源や医療提供体制の情報発信や適正受診の啓発	医療資源について理解を推進し、適正受診を啓発する。	地域医療課 ★保険年金課 健康推進課 医療機関 長浜米原地域医療支援センター	O(実施)	①ジェネリック医薬品の利用差額通知 年4回(R7.1時点89.8%) ②訪問事業の実施 ・重複服薬1人 ・多剤服薬4人	①ジェネリック医薬品使用率は年々増加している。(R5 82.9%) ②令和6年度の対象者5人については、訪問前後でレセプト点数37,473点、受診日数は19日減少した。	執行中	取組あり		○	○	連携あり	休日急患診療所についても同時周知	1	○				無し
3 医療資源について市民理解を深める	医療資源や医療提供体制の情報発信や適正受診の啓発	医療資源について理解を推進し、適正受診を啓発する。	地域医療課 保険年金課 ★健康推進課 医療機関 長浜米原地域医療支援センター	O(実施)	母子手帳交付時と4か月児健診時に子どもの救急受診の手引きのファーマル資料を配布し、啓発している。地域医療課と連携し、休日急患診療所を検索できるQRコード用紙も同時に配布	保護者の知識の定着を図れるよう引き続き継続していく。	執行済	取組あり	○	○		連携あり	医師確保で医師会の協力をいただく	5					有り
4 医療資源について市民理解を深める	長浜米原休日急患診療所の運営	長浜米原休日急患診療所の管理・運営を行つ。	★地域医療課 休日急患診療所の運営に関する自治体 湖北医師会	O(実施)	長浜米原休日急患診療所の管理・運営を実施(診療日数72日)	病院の救急受診者が多くなると医師の負担が増加するため、休診日ににおいて啓発を続ける	執行中	取組なし				連携あり	マイナ保険証、労務管理						
5 持続可能なへき地医療を確保する	へき地医療体制の確保	医師確保及び医療従事者確保対策を継続する。	★地域医療課 医療機関 湖北健康福祉事務所	O(実施)	へき地医療を担う医師等の医療資源を確保するため若手医師および医学生に地域医療の魅力を伝える取組を実施	医師確保や医師定着につながる取組を継続する	執行中	取組あり		○	○	連携あり	浅井地区診療所の指定管理者に取組を委託している。	1					無し
6 持続可能なへき地医療を確保する	※長浜市立湖北病院及び国保直進の連携推進	長浜市立湖北病院及び国保直進の連携、強化を推進する。	★地域医療課 医療機関	O(実施)	長浜市立湖北病院及び国保直進との連携を図った	長浜市立湖北病院及び国保直診との連携を継続する	執行中	取組なし				連携あり	中之郷診療所を湖北病院にて、浅井地区診療所と西浅井地区診療所を指定管理者にて、運営している	3					オンライン診療

## 8【食育推進計画(食育・栄養分野)

## 8【食育推進計画(食育・栄養分野)】

R6実績					R6 取組実績			R7 事業実施計画														
								R7事業実施状況	各世代(ライフステージ)に応じた取組を行っているか					関係課や各種団体等と連携しているか(事業企画・運営、ブース出展、講座実施、機器貸出し、人員派遣、事業周知協力、協賛品提供等)	主な連携概要	連携している機関の数	連携機関の内訳				サービス利便性向上、効率的な事業実施のためのツール技術・機能等の(事業周知、事業申込方法のDX化、結果の見える化、アプリの活用、結果データの取得など)	主な活用状況
									世代に応じた取組の有無	妊娠・周産期	子ども・若者世代(0~19歳)	就労・保護者世代(20~64歳)	シニア世代(65歳以上)				庁内関係課 園・学校等	地域団体	民間企業	教育機関 (大学等)		
R7進捗状況		進捗状況:8割 各世代に配慮した取組の割合:8割 関係機関との連携割合:8割																				
13	こどもから大人まで食を通じた心身の健 康増進	おにぎりレシピの配布や朝食コンテストなどを通じて、朝食を簡単に手軽に食べ方やだらの活用等により、薄味で食べるポイントを啓発し、誰もが手軽に減塩に取り組めるよう推奨する。	おにぎりレシピの配布や朝食コンテストなどを通じて、朝食を簡単に手軽に食べ方やだらの活用等により、薄味で食べるポイントを啓発し、誰もが手軽に減塩に取り組めるよう推奨する。  <b>健康推進課 学校給食課 幼児課</b>	R6 実施の有無 △(一部実施)	R6 実績に関するコメント (回数、実施箇所、実施回数、参加人数など) (実施末時点 課題等 (実施回数、参加者数、地域や世代の偏り、連携の有無等)	R6 実績実施状況 執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	2	○			有り	キッズピューでのおたより配信					
14	こどもから大人まで食を通じた心身の健 康増進	小だんの食習慣を振り返られるよう、10品目シートを活用しフレイルやサルコバニア予防の出前講座を実施する。	★ <b>健康企画課 長寿推進課</b>	O(実施)	健康ステーション事業 店舗型14回 1,419人 出張型 5回 379人	野菜摂取定めや生活改善アドバイス時に、食事バランスや低栄養予防について説明。 R7年度は、野菜摂取定め時に10食品群表の配布及び、低栄養予防アドバイスを参加者全員に向けて実施。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	11	○	○	○	有り	測定機器を活用し、生活習慣の結果が数値で見えるようにしている				
15	こどもから大人まで食を通じた心身の健 康増進	買物の場等で、野菜摂取量測定や骨強度測定を行い、食事バランスや減塩等による生活習慣病予防・骨粗しあう症予防の啓発を行う。	★ <b>健康企画課 健康推進課 事業所 健康づくり連携協定企業</b>	O(実施)	健康ステーション事業 店舗型14回 1,419人 出張型 5回 379人	R6年度は、平和堂を通じ、雪印の力をかり、骨強度測定及び骨粗しあう症予防を実施。 R7年度も雪印の民力を活用して、骨粗しあう症予防の啓発を行う。	執行中	取組あり	○	○	○	連携あり	11	○	○	○	有り	測定機器を活用し、生活習慣の結果が数値で見えるようにしている				
16	こどもから大人まで食を通じた心身の健 康増進	こども食堂などで「いただきますのあとは野菜から」「早寝早起き朝ごはんなどのパンフレットを配布する。	健康推進課	X(実施なし)			未着手															
17	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成	農産物等に触れる機会の拡大、農林漁業体験の提供、地産地消のPR等	園・小・中・義務教育学校での栽培活動の継続、地産地消についてPRを行つ。	教育指導課 ※園・小・中・義務教育学校	O(実施)	小学校で「たんぽのこ」を実施。低学年が野菜栽培、高学年が稻作を体験。	未着手	取組なし				連携あり					無し					
18	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成	農産物等に触れる機会の拡大、農林漁業体験の提供、地産地消のPR等	園・小・中・義務教育学校での栽培活動の継続、地産地消についてPRを行つ。	教育指導課 ※園・小・中・義務教育学校	O(実施)	地域の茶畑で茶摘み、ひわの収穫、ホンモロコやゴロブナの放流等、栽培・収穫活動を行つた。	執行中	取組あり	○			連携あり		○								
19	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成	農産物等に触れる機会の拡大、農林漁業体験の提供、地産地消のPR等	園・小・中・義務教育学校での栽培活動の継続、地産地消についてPRを行つ。	農業振興課	X(実施なし)	市としてはPR実績無し	未着手					連携なし					無し					
20	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成	食品ロスの啓発	園・小・中・義務教育学校での食品ロスについての啓発や、フードバンクの活用を促進する。	★ <b>学校給食課 教育指導課 幼稚課 フードバンク 社会福祉協議会 商業施設</b>	O(実施)	食品ロス月間にあわせて資料発行、各学級で食品ロスについて考える時間を設けた。小学6年生には食品ロスをテーマに給食指導者による授業を行つた。学級閉鎖で実施できなかつたパンや建設はフードバンクを通じて有効活用。	準備中	取組あり	○			連携あり		○			有り	R6年度からロイノートにて資料啓発。				
21	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成	食品ロスの啓発	園・小・中・義務教育学校での食品ロスについての啓発や、フードバンクの活用を促進する。	学校給食課 教育指導課 幼稚課 フードバンク 社会福祉協議会 商業施設	△(一部実施)	食品ロスにつながる取組として、吉手なものも少しはあるべくための声かけを行つてある。大規模な学級閉鎖、休園等が行われる場合にフードバンクの活用を検討するが、R6年度は活用実績なし	未着手															
22	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成		園での食育授業を通して、食事のマナーや食事に関する関心を高める取組を継続する。	学校給食課	O(実施)	各クラス2~3回/年、食事マナーや栄養バランス、野菜等について食育指導を実施。	執行中	取組あり	○			連携あり		○			有り	R6年度から、食育指導の内容をキッズピューにて保護者向けに配信。				
23	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成		給食によりなどを通じて、「共食」「伝統食」「行食事」の話題を掲載し啓発する。給食で伝統食や行食事を取り入れる。	★ <b>学校給食課 教育指導課 幼稚課 園・小・中・義務教育学校 教育指導課</b>	O(実施)	毎月1~2回、郷土料理と行事食の献立を取り入れている。給食により伝統食や行食事の由来を掲載している。	執行中	取組あり	○	○		連携あり		○			無し					
24	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成		給食によりなどを通じて、「共食」「伝統食」「行食事」の話題を掲載し啓発する。給食で伝統食や行食事を取り入れる。	学校給食課 教育指導課 幼稚課 園・小・中・義務教育学校 教育指導課	O(実施)	・行食事を給食に取り入れ、給食により掲示物で知らせる。 ・公立保育園、認定こども園、幼稚園の3~5歳児を対象に実施したアンケートをもとに共食の大切さについて啓発。(回答1,010人)	家庭での共食状況をみると、家族全員で食事をする割合は朝食では17.4%、夕食では38.0%。「子どもたちだけ」「一人で」食事をする家庭もあることから、共食の大切さを伝え必要がある・伝統食や行食事の提供には、食材の確保が課題	執行中	取組あり	○	○		連携あり	公立園	19	○		有り	webアンケートアプリの活用			
25	食を通じた豊かな心と食を選び生きる力 の育成		長浜市学校給食センターで給食提供する野菜は地場産野菜を使用するようにする。	★ <b>学校給食課 幼稚課 園・小・中・義務教育学校</b>	O(実施)	長浜産野菜を優先的に使用できるよう市独自の基準を設置し運用。	執行中	取組あり	○			連携あり			○		無し					